

立体物に対するキセノン促進耐候性試験のご案内

従来の促進耐候性試験では、平面状のサンプルを試験片回転枠に取り付け、サンプルを回転させながらキセノンアーク灯光を照射させていました。この度導入したキセノン促進耐候性試験機では、立体構造サンプルに対して試験が可能となります。

720mm×450mm のフラットトレイの上に立体構造サンプルを設置し、キセノンアーク灯光の照射だけではなく、フロントスプレーやバックスプレーを装備していることで降雨・結露等、様々な状況を想定した試験が可能です。

試験の概要

米国 Q-Lab Corporation 製 Q-SUN Xe-3

仕様	特徴
キセノンアーク灯光	紫外線・可視光線・赤外線を含むフルスペクトル
測定波長範囲	300-400nm/ 340nm/ 420nm/ Lux センサー(切替可能)
放射照度	最大 125W/m ² (300-400nm)/ 最大 1.30W/m ² (@340nm)/ 最大 2.40W/m ² (@420nm)/ 最大 180kLux (Lux センサー)
フィルタ	昼光フィルタ/ 4種の窓ガラスフィルタ/ 2種の UV フィルタ
ブラックパネル温度	25~120℃まで任意に設定可
スプレー	サンプルの表側及び裏側に水噴霧可
試験サンプル総重量	最大 23kg

【サンプル例】

- ポリカーボネートカバー、カバーに貼り付けられたラベル
- アッセンブリー内の部品、回転型試験機に取り付け不可の大型品
- ボトル容器、容器内液体の耐候性 など



写真：Q-Lab Corporation 様から提供

【評価例】

促進耐光性試験の前後でサンプルの色、光沢、外観変化、強度など実施可能です。また、JIS、ISO などに採用されている促進耐候性試験機になりますので、各種試験規格につきましてはご相談ください。

お問い合わせ

東京事業所 川口ラボ TEL：048-258-3277 e-mail：kawaguchi-ml@kaken.or.jp

または、最寄りの事業所、検査所にお問い合わせください。